



たかあき通信

～6月定例会市政報告書～

発行責任者：
無所属会派『越谷刷新クラブ』
越谷市議会議員 のぐち高明
〒343-0032
埼玉県越谷市袋山 2039
Tel:048-919-2772
Mail:otoiawase.noguchitakaaki@gmail.com

2020.7
Vol.4

※右のQRコードを読み取ると過去の私の一般質問の動画が表示されます。通信量につきましては各自個人負担でお願いいたします。なお、動画はWi-Fi下での視聴をお勧めします。

【6月定例会の質問項目】

令和2年6月15日（月）に、市政に対する一般質問が行われました。

- 1 コロナ禍における各種支援手続きについて
 - ① 日常的に支援が必要な方への各種支援手続きについて
 - ② 特別定額給付金の普及について
 - ③ 寄附の受け入れについて
 - ④ 事業継続支援金について
 - ⑤ 農業生産経営支援について
- 2 コロナ禍における学びの実現について
 - ① 登下校に係る見守り体制について
 - ② 登下校時の視認性向上の取組について
 - ③ 通学路における防犯カメラの必要性について
 - ④ 子どもたちのメンタルケアについて
 - ⑤ オンライン授業に向けた整備導入について
 - ⑥ オンライン授業の早期実現に向けた体制づくりについて
- 3 コロナ禍における防災への取組について
 - ① 避難所の感染症対策について
 - ② 感染症蔓延下での臨時避難所の指定について
 - ③ 避難方法とその周知について
- 4 新型コロナウイルス感染症対策の検証について
- 5 現状を踏まえた今後のまちづくりについて
 - ① 在宅勤務導入支援について
 - ② 塾や習い事のリモート化支援事業について
 - ③ テレワーカー向けサービス環境整備について
 - ④ サテライトオフィスの開設等支援について
 - ⑤ スーパーシティ構想実現に向けた取組について

【市政に対する一般質問】

《主な市長とのやりとり》

〈日常的に支援が必要な方への各種支援手続きについて〉

- Q 独居の高齢者の方や、障害者の方など、日常的に支援が必要な方が手続きをされる場合の対応について、特別定額給付金を例に、これまでどのようにご支援されているのか？
- A 新型コロナウイルスに関する各種手続き等について、必要に応じて漏れなく申請できるよう、引き続き関係機関と連携し、積極的なアウトリーチによる支援に努めていきたい。



のぐち 高明
過去一般質問動画一覧



6月定例会
一般質問動画



※イラストはイメージです。

〔コメント〕新型コロナウイルス感染症によってお亡くなりになられた方へお悔やみを申し上げますとともに、日々奮闘されている医療従事者の方々へ心から感謝の意を表します。

さて、今回の6月定例会では、流動的に変化するコロナ対応に関する専決処分の承認の他、コミュニティプラザ（サンシティ）の財産の取得、大沢地区センター・公民館改修工事（旧保健センター）請負契約の締結、大相模保育所建設工事請負契約締結等が議案として上程され審議を行いました。

また、7月臨時会が7月29日に行われました。詳しくは同時発行の7月臨時会特別号をご覧ください。

〈特別定額給付金の普及について〉

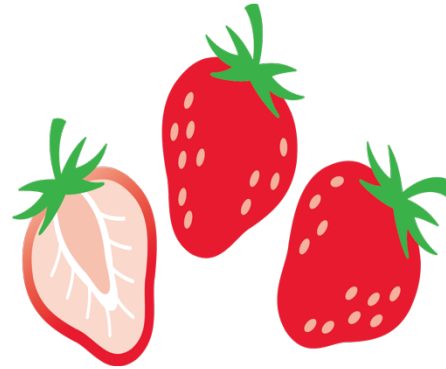
Q 申請期間中にまだ申込がない方への勧奨について、どのようにお考えか？

A 7月下旬には、申請をしていない方に対して、勧奨通知の送付を予定している。今後とも、迅速かつ的確な給付事務に努めるとともに、本事業の趣旨を踏まえ、必要とされるすべての方に確実に給付がなされるよう、事業の周知・普及に取り組んでいく。

〈農業生産経営支援について〉

Q 現在の本市農業への影響をどの程度であると捉え、それに対し、どのような支援策を行っておられるのか？

A 越谷いちごタウンを例にとると売上高が昨年比で20%減少した。市内のいちご観光農園も同様であると考え。緊急事態宣言による閉園後のイチゴの販路を確保するため、市役所職員向けに約1300ケースの斡旋販売を行った。また、市内2カ所の老人福祉施設に納品できることとなり、販路を拡大した。その他に、冷凍イチゴを市内小中学校の給食でイチゴジャムとして活用できるよう調整を進めている。



〈新型コロナウイルス感染症対策の検証について〉

Q 越谷市独自の8つの対策（財源：国庫支出金）について、効果とその検証については、いつまでに、そしてどのように行うのか、市長のお考えは？

A 国からは、事業の終了後に効果の検証を求められている。国から示された検証方法を踏まえて、適切な時期に効果の検証を行っていく。

〈現状を踏まえた今後のまちづくりについて〉

Q 新型コロナウイルス感染拡大の現状を踏まえて、「働き世代に選ばれるまち」とは以前と変わらないとお考えか？それとも、すでに変化しているとお考えか？

A 産業界だけではなく、行政にも大きな影響をもたらしている。行政サービスのあり方については根本から考えていかなければならない。これまでの行政のテーマであった、“人と人とのふれあい”ということひとつをとっても、変わっていくであろう。通信機器の発達を駆使したサービスのあり方についても、根本的に見直すいい機会。今後は様々な分野でいろいろな課題が提起されるであろう。一つ一つに率直に耳を傾け、対応する努力をしていく。(市長答弁)



※この報告書は費用を抑えるため、のぐち高明本人が作成から印刷まで行っております。イラストはフリー素材です。
Instagram/LINE@/Facebook/Twitter 等にて随時発信しております。QR からフォローをよろしくお願いいたします。

『のぐち高明プロフィール』

1982年（昭和57年）6月5日生まれ 38歳
野口学院を経営する両親の元、長男として生まれる。
しらこぼと幼稚園／越谷市立大袋北小学校／私立城北中学校／
私立城北高等学校／東京理科大学経営学部／
元川口市役所行政職員
心身障害福祉センターわかゆり学園／情報政策課
介護保険システム管理・市公式ホームページ構築庁内担当等
平成最後の越谷市議会議員選挙（2019年4月21日執行）
にて地域の皆様に支えられ初当選（1期目）
無所属会派『越谷刷新クラブ』に加入
政治信条『地域密着・地元貢献・政治は地元地域から』
趣味『テニス・ゴルフ・クライミング・コーヒー・畑』

